



国際通貨基金

コミュニケー
ション局

(参考仮訳)

プレスリリース No.14/568
即時解禁
2014年12月12日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事による、 IMF クォータ及びガバナンス改革に関する声明

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、以下の声明を
発表した。

「IMF加盟国は、アメリカに対し今年末までに IMF の 2010 年クォータ（出資割当
額）及びガバナンス改革を批准することを求め、またこれを期待していた。改革の
実行は、IMF の信頼性、正当性、及び有効性を強化するとともに、加盟国のニーズ
に対応するに十分な資金を恒久的に確保するうえで引き続き不可欠である。

アメリカ政府より、現在同国議会が審議している予算案に、同改革案が含まれてい
ないとの報告を受けた。私は、アメリカ政府に対し遺憾の意を伝えたが、同国が迅
速な批准に向け引き続き努力することを期待する。

我々の加盟国が求めるように、我々は、クォータ及びガバナンス改革で前進し、
IMF が十分な資金基盤を確保できるよう、2015 年 1 月の理事会会合で代替案の検討
に入ることになる」